

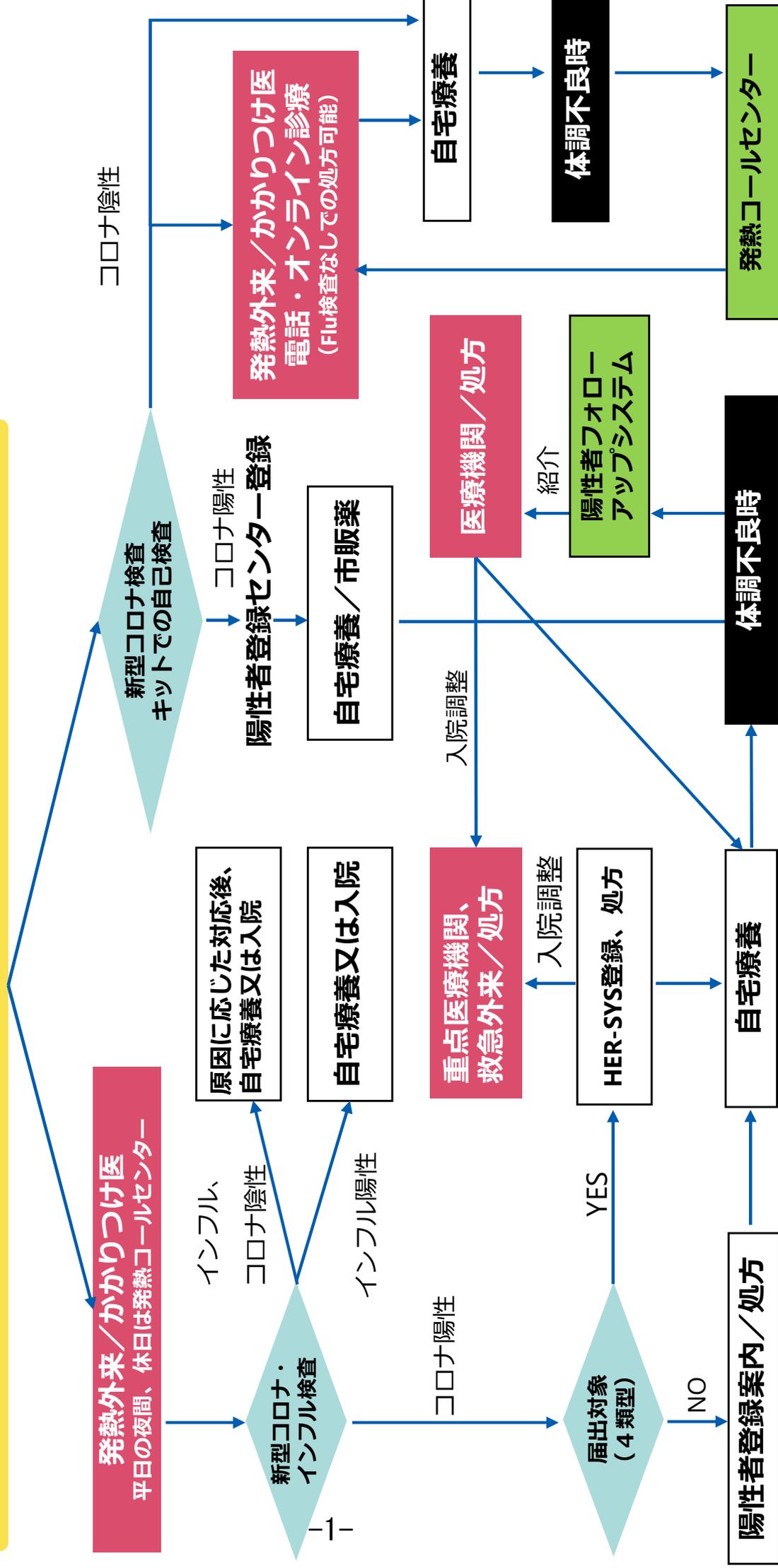
資料 4

新型コロナ・インフル同時流行下の
外来受診・療養の流れについて

新型コロナウイルス・インフルエンザの大規模な流行が同時期に起きる場合に備えた 外来受診・療養の流れ（平時）

平時＝沖縄県警戒レベル1 感染小長期

発熱等体調不良を訴える方（重症化リスクの程度を問わない）



※ 自宅療養中の体調変化等には、受診した医療機関やかかりつけ医を受診する。

かかりつけ医がない場合は、陽性者フォローアップシステム、発熱コールセンターに連絡する。

新型コロナウイルス・インフルエンザの大規模な流行が同時期に起きる場合に備えた 外来受診・療養の流れ（感染拡大時）

感染拡大時＝沖縄県警戒レベル2以上

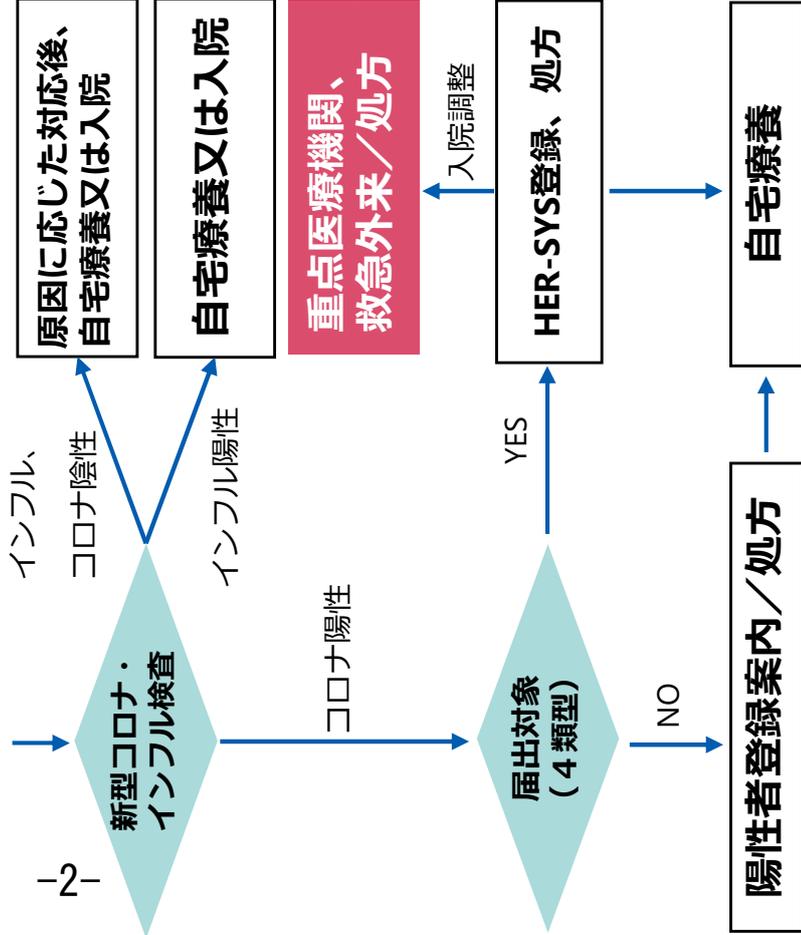
注意 1 意識障害、呼吸困難等がある場合には、ためらわずに救急受診してください。

注意 2 基礎疾患がなくとも、水分や食事がとれない、ぐったりしている等の場合には、発熱コールセンターに相談し、発熱外来、かかりつけ医を受診してください。

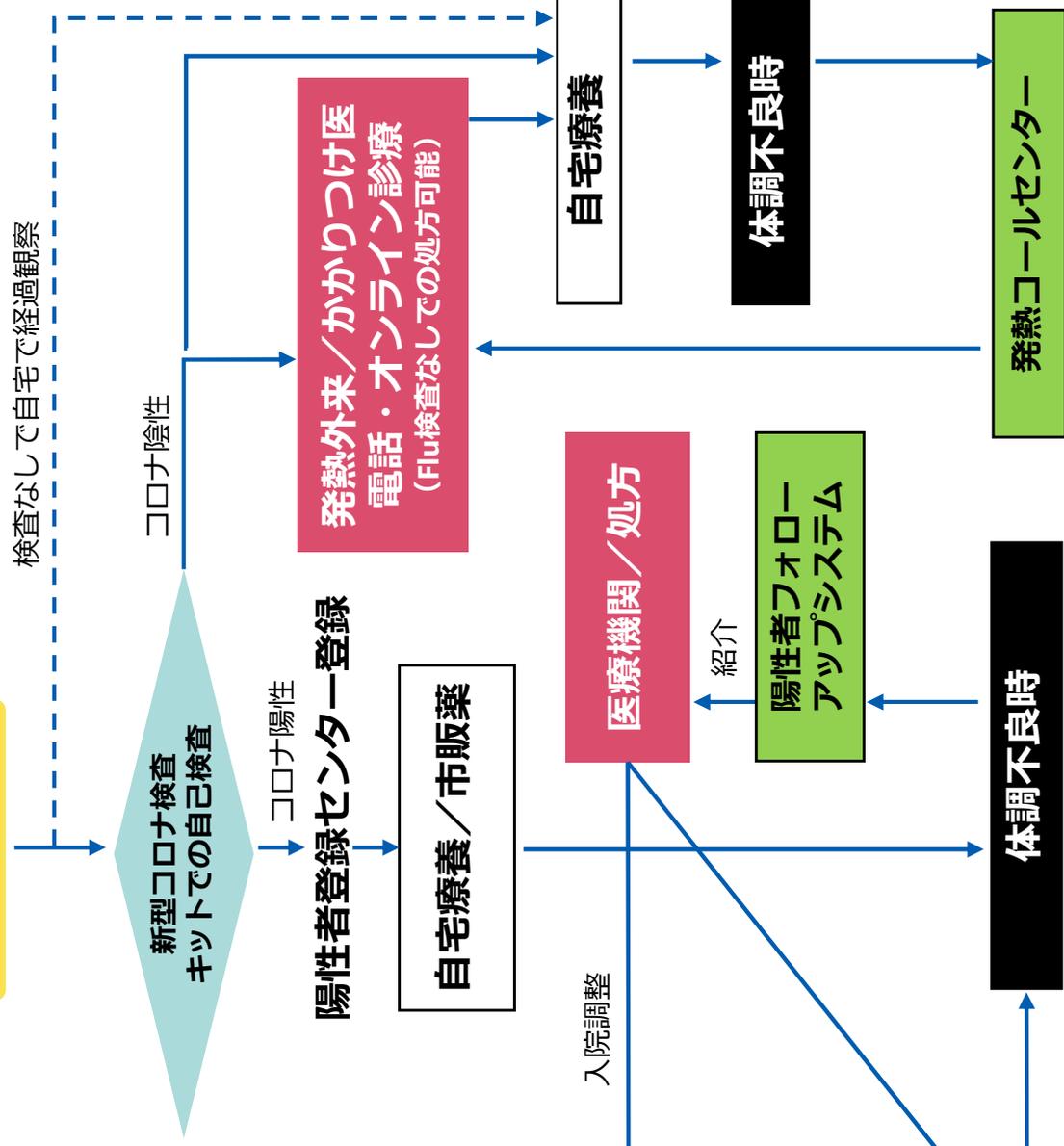
妊婦、透析患者

基礎疾患がある方、高齢者、小学生以下のうち、症状がづらい（ぐったりしている）などで受診を希望する方

発熱外来／かかりつけ医
平日の夜間、休日は発熱コールセンター



左記以外の方



検査なしで自宅で経過観察



新型コロナウイルス・インフルエンザの大規模な流行が同時期に起きる場合に備えた重症化リスクの高い方の外来受診・療養の流れ（イメージ）

<重症化リスクの高い方の発熱等体調不良時の外来受診・療養の流れ>

※このフローは標準的なモデルです。各地域の状況に応じて変更される場合があります。



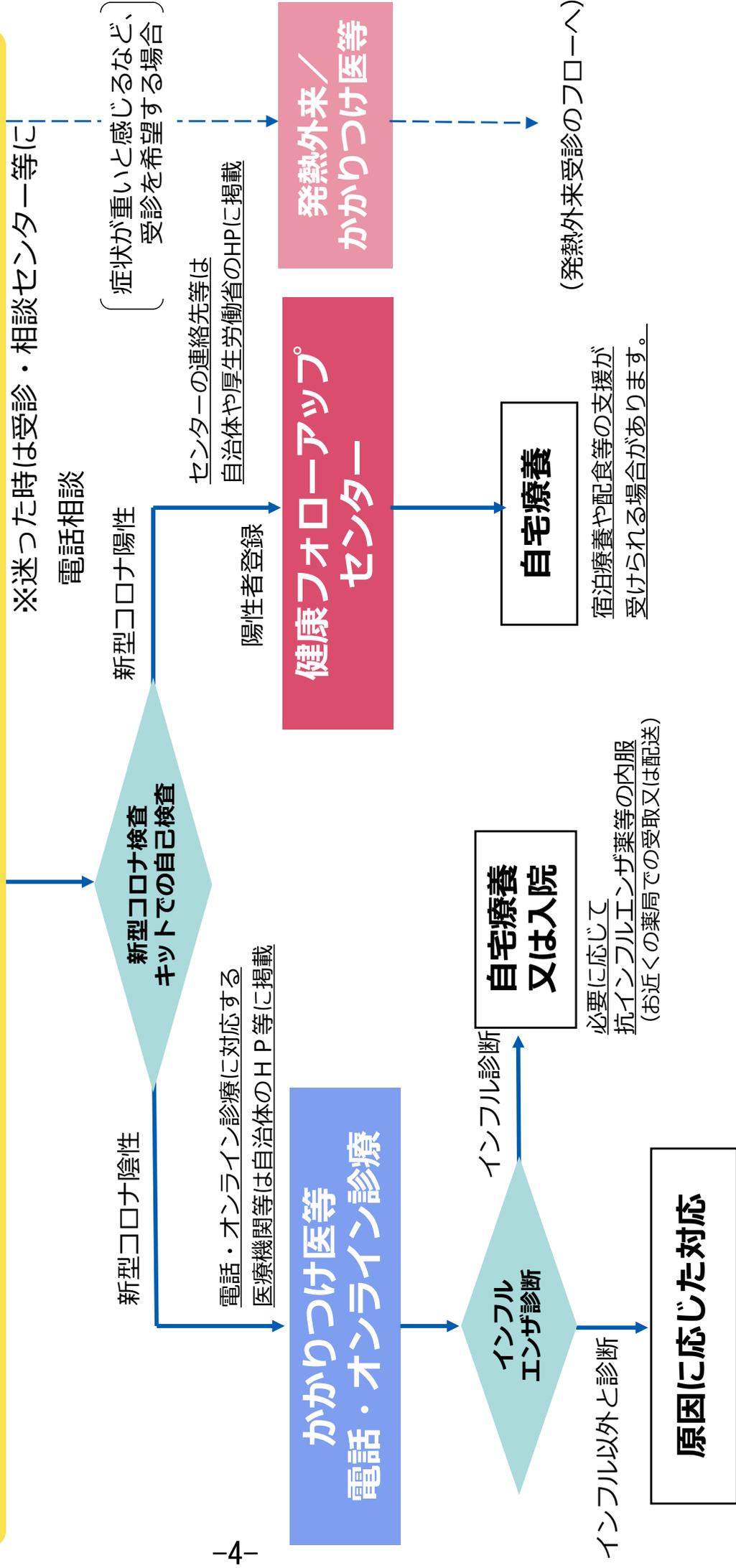
※自宅療養中の体調変化等には、受診された医療機関や登録されている健康フォローアップセンターにご連絡ください。

国 新型コロナウイルス・インフルエンザの大規模な流行が同時期に起きる場合に備えた重症化リスクが低い方の外来受診・療養の流れ（イメージ）

<重症化リスクが低い方の発熱等体調不良時の外来受診・療養の流れ>

※このフローは標準的なモデルです。各地域の状況に応じて変更される場合があります。

重症化リスクが低い若い方 (前頁以外の方)



※自宅療養中の体調変化等には、受診された医療機関や登録されている健康フォローアップセンターにご連絡ください。

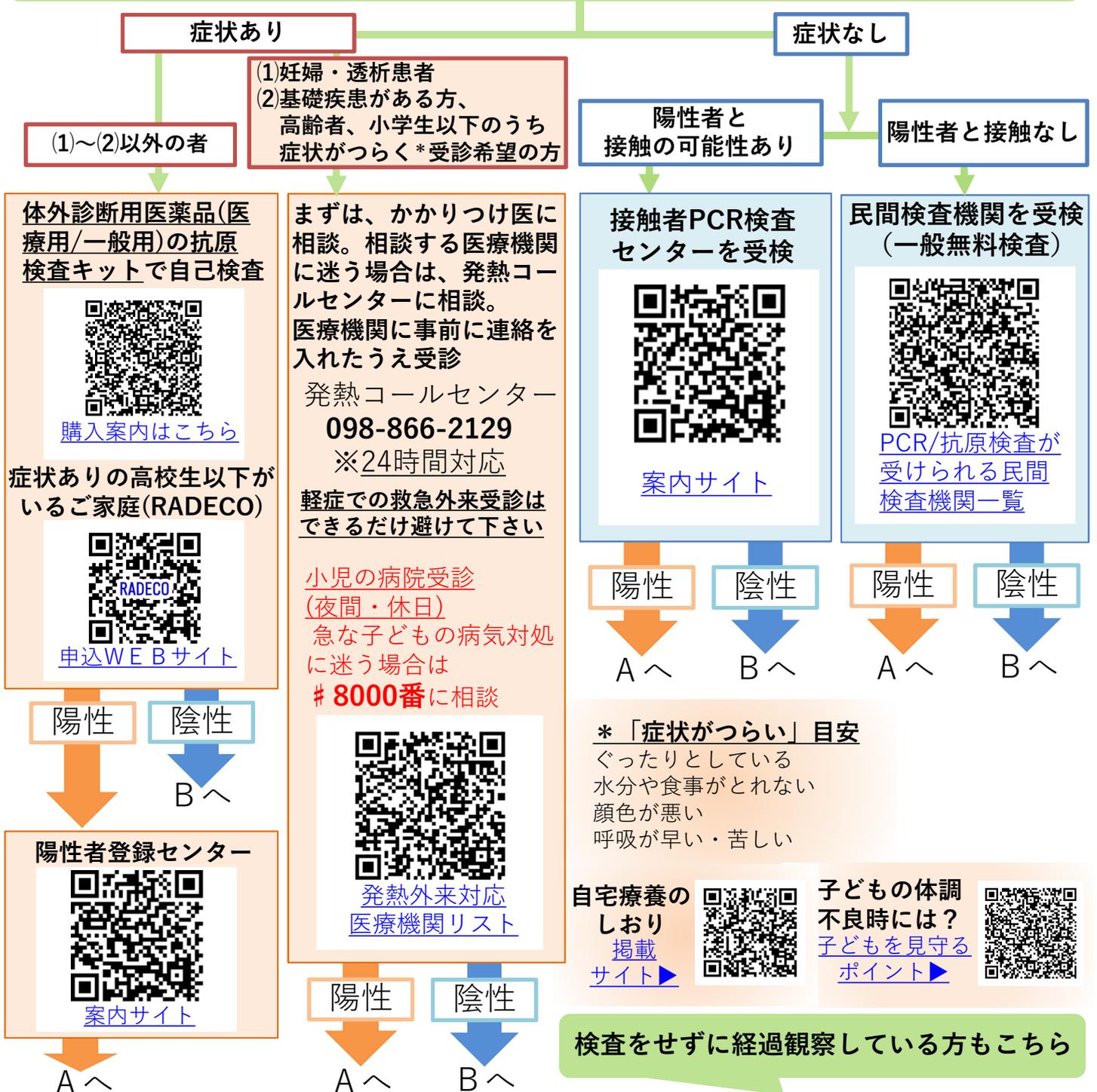
コロナかな？ と思ったら

あなたを守り、医療を守るために協力いただきたいこと



沖縄県

新型コロナに感染していないか不安があり、検査を受けたい



*** 「症状が辛い」目安**
ぐったりとしている
水分や食事がとれない
顔色が悪い
呼吸が早い・苦しい

自宅療養のしおり掲載サイト▶

子どもの体調不良時には？子どもを見守るポイント▶

検査をせずに経過観察している方もこちら

A. 陽性の場合

- 以下の①～④にあてはまる方は、「陽性者登録センター」へ申請すると共に、「自宅療養のしおり」を参考に自宅療養し、療養中の相談事についてはフォローアップシステムをご活用(098-894-8291)下さい。
 - ① 65歳未満、② 入院が不要、
 - ③ 重症化リスクがない(治療薬又は酸素投与の必要がない)、
 - ④ 妊娠していない
- 上記①～④以外の方は、沖縄県コロナ対策本部より届くSMS等の案内に従って療養を行って下さい。

B. 陰性の場合 (検査を希望しない方)

感染していても結果が陰性となる場合がありますので、引き続き感染対策にご協力下さい。
 急な発熱・筋肉痛等の症状のある方は、インフルエンザ等ほかの疾病の可能性もあります。
 かかりつけ医に相談、または人との接触避け自宅で療養を続け、悪化する場合は受診を検討して下さい。
発熱外来医療機関について
 ▶発熱コールセンター (098-866-2129)